



最近の日本弁理士会の取組

令和6年1月29日

日本弁理士会

取組の概要

【柱】未来の礎を築く人材育成

I. 中小企業・スタートアップ等への支援拡充

1. 知財経営支援ネットワークの活動
2. 弁理士紹介制度の拡充
3. 弁理士ナビの改修
4. 農林水産分野における取組強化

II. 信頼されるプロフェッショナルとしての弁理士の育成

1. 弁理士の育成・強化
2. 生成AI時代に適応した弁理士業務の検討
3. 標準化に関する取組強化

III. 弁理士の魅力発信

1. 知的財産立国の将来を担う人材の育成
2. 国際関係活動の拡充
3. ダイバーシティ＆インクルージョンの推進

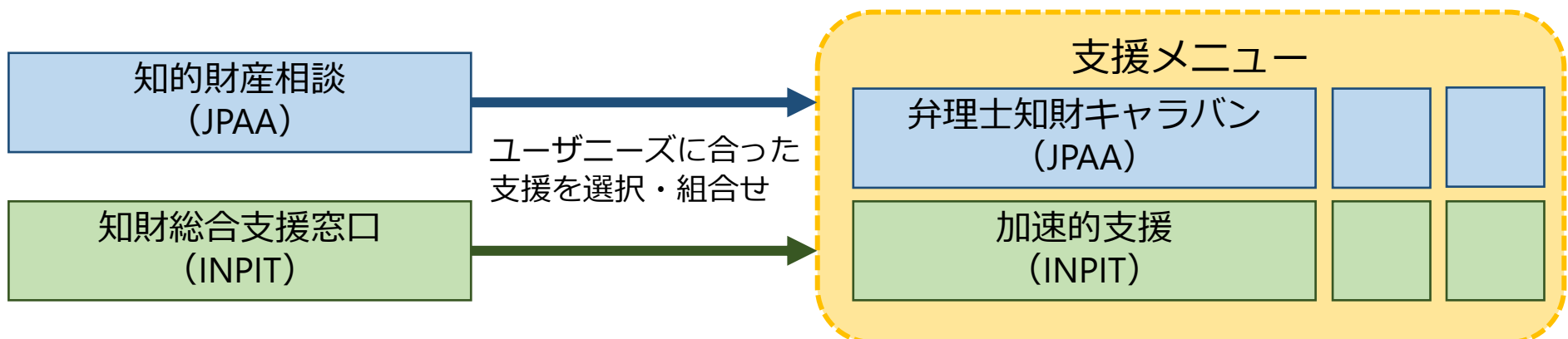
I. 中小企業・スタートアップ等への支援拡充

1. 知財経営支援ネットワークの活動

- 「知財経営支援ネットワーク（4者連携）」の**コアメンバー**として、知財相談対応・セミナーでの講演・INPIT加速的支援への参画等の活動を実施。
- 9つの地域会がそれぞれ「地域知財経営支援ネットワーク」を構築し、より地域に密着した支援活動を展開。
- セミナー等において**講師を担い得る弁理士**を、ワークショップ型研修を通じて**育成**。

【「アライアンスマーク」の作成】

- INPITの知財総合支援窓口と当会の知財相談のどちらを利用しても同水準の支援が受けられることがユーザにとって分かりやすくなるよう、共通のアライアンスマークを作成（商標出願済）。R6年度より掲示を開始する予定。



【各種事業への協力（一例）】

● INPIT「加速的支援」への弁理士OJT参加

- 専門家チームによるオーダーメイド型の支援である本支援に、令和5年12月末時点で29名の弁理士がOJT参加

● INPIT「発明体験ワークショップ」（パテントコンテスト関連）の周知

- アイデアを引き出す“課題の発見”、過去事例から発想を具体的に示す“調査”、アイデアを言語化してコンテストの“応募書類を作成”するまでのプロセスを1日で体験する本ワークショップにつき、当会が高校・高専・大学等に知財授業を行う際に周知を実施。

※当会は、H14年度より、特許庁・文化庁・INPITと共にパテントコンテスト・デザインパテントコンテストを主催しており、出願支援（弁理士による出願書類作成指導等）や事前審査等を担っている。

● INPIT「知財力開発校支援事業」への講師派遣

- 生徒・学生が、社会・ビジネスの中での実態に触れながら、知的財産マインドを育むべく、知財学習を行う学校の取組を支援する本事業につき、INPITからの要請のもと5校に弁理士を講師として派遣。

● 商工会議所「知恵を『稼ぐ力に』～100社の舞台裏～」への取材先企業推薦

- 「知財活用＝稼ぐ力」であることを中小企業の経営者等が認識し、知財経営を進める契機としていただくことを目的に制作が進められている本事例集に対し、全国から約100社を推薦（半数程度が取材対象となる見込み）。

● 特許庁「つながる特許庁」への講師派遣・周知協力

- R5年度特許庁が全国6箇所で開催する本イベントに、講師を派遣するとともに、当会ウェブサイトでも周知協力

※上記以外にも、知財経営支援ネットワーク（地域知財経営支援ネットワーク）のもと、種々のイベントで相談対応・講演、イベントの周知などを多数実施。

【弁理士の育成】

知財経営支援ネットワークにおける種々の活動に貢献すべく、期待に応え得る弁理士を育成

● 会員研修「四者連携 取り組みのヒント」の実施

- 広く会員に知財経営支援ネットワークの理解促進を図ることを目的とする研修。関東経済産業局職員・支援活動を行った弁理士を講師とし、連携から得た知見や経験に加えて、四者連携を更に進めるうえで留意すべき点や課題などについて説明・討論。会場・オンラインのハイブリッド形式で実施し、R6年度地域会役員を中心に全国から86名が受講。

● 会員研修「知財マネジメント 講師育成研修」の実施

- INPITが全国で実施する、ケーススタディ教材を利用したセミナーの講師を担い得る人材を育成する研修。実会場で2回、オンライン形式で1回開催し、全国から72名が受講。いずれも、実際のセミナーで用いられるケーススタディ教材を利用し、講師役と受講生役とに分かれてのワークショップ形式により実施。講義を疑似体験することにより実践力を育成。

● INPIT「加速的支援」への弁理士OJT参加

- 企業に対する、知財経営コンサルティングに参画することで、現場経験を通じてスキル向上を図る。参画実績は、JPAA知財経営コンサルタントの認定要件の1つとして申請可。

● 「知財経営コンサル育成プログラム」の継続実施

- 知財経営コンサルティングのスキル向上を目的とした、6回シリーズのコンサルティング人材育成研修を継続して実施。

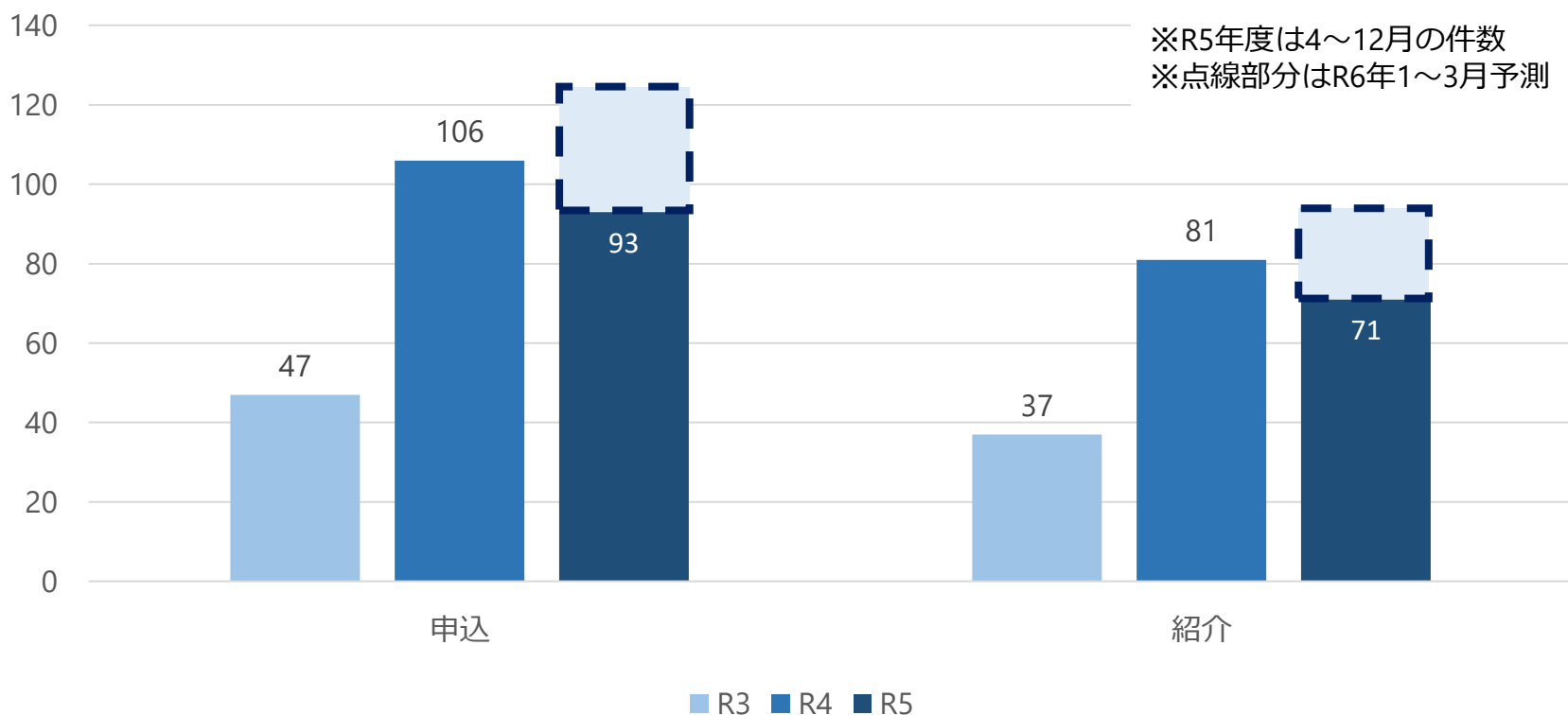
＜JPAA知財経営コンサルタント認定要件＞

- ◆ 知財経営コンサル育成プログラム修了+ (1) ～ (3) のいずれかを満たす
 - (1) 自身のクライアントに対するコンサルティングを行い、企業から証明を受けた報告書を提出
 - (2) 弁理士知財キャラバンにおける企業支援に同席
 - (3) INPIT加速的支援事業にオブザーバーとして3回以上OJTに参加 ※本年度追加

I. 中小企業・スタートアップ等への支援拡充

2. 弁理士紹介制度の拡充

- 関東会・東海会・関西会で運用がなされている弁理士紹介制度は、**着実に利用件数を伸ばし、実績の積み上げが進んでいる**ところ。
- 令和5年度には「弁理士紹介制度検討WG」を設置し、制度運用の礎となるモデル規則を作成するなど、**全国展開に向け準備が進捗中**。令和6年4月からは九州会、令和6年10月からは東北会でも運用を開始予定。



3. 弁理士ナビの改修

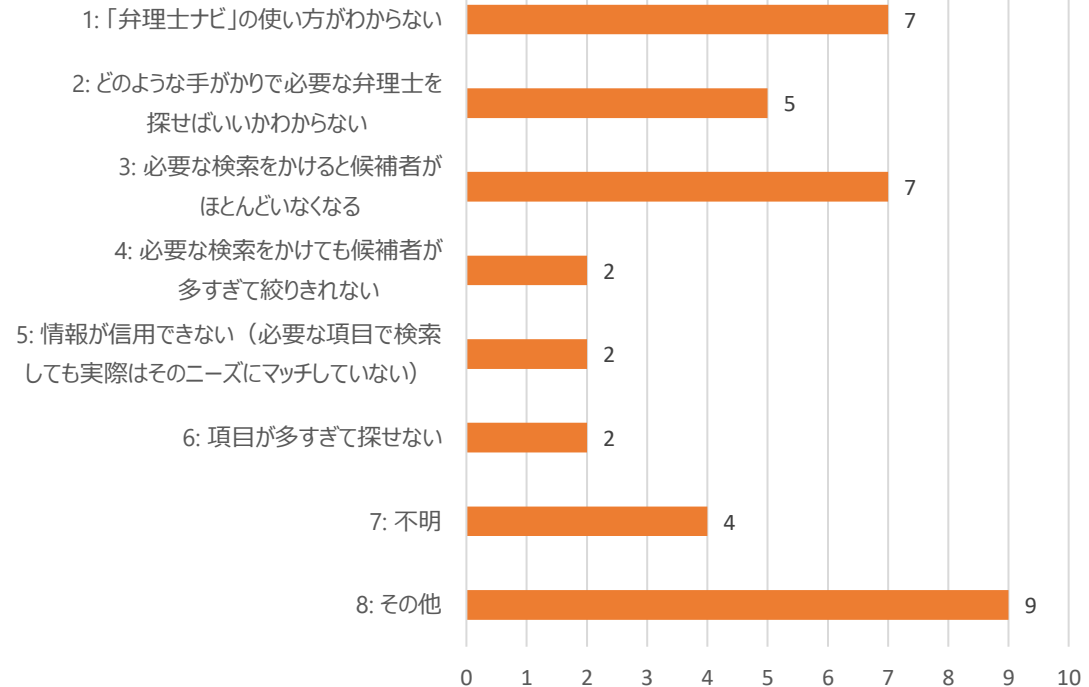
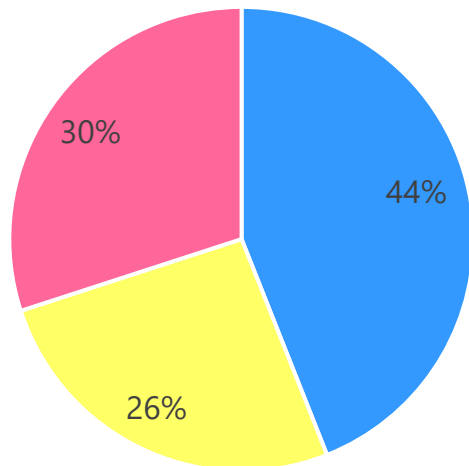
- 令和5年度に「弁理士ナビ検討WG」を設置、今まで以上に目的に合致した弁理士にたどり着けるよう、大幅バージョンアップの検討を開始。

【現行弁理士ナビに対するアンケート（常時受付）】

ユーザの方々からいただいた声も踏まえて、改修を進めていく予定

- 「弁理士ナビ」で目的の弁理士を探し出すことができましたか
- （時間がかかった・探し出せなかった方、）その理由は何ですか

- 1: 手早く目的の弁理士を探し出せた（30分未満）
- 2: 目的の弁理士を探し出すのに時間がかかった（30分以上）
- 3: 目的の弁理士を探し出せなかった



4. 農林水産分野における取組強化

- 令和3年弁理士法改正の趣旨に鑑み、企業ヒアリング、省庁等との意見交換等を通じ、今後の農林水産分野における弁理士の貢献フィールドを模索。
- 他専門家と連携して円滑な支援等が行えるよう、各地で専門家合同の協議会等に参画し、相談会等で共同するなど、スムーズな連携の礎を構築。
- 加えて、農林水産関係の大規模イベントへの出展、協議会への参加、農林水産普及指導員を対象とした研修に継続的に講師派遣するなどし、ネットワークを構築中。

【ヒアリング・意見交換（一例）の概要】

スマート農業実証プロジェクト参加企業	契約チェック体制、データの利活用、知的財産利活用状況・計画など
知財ミックス実績企業	特許権、商標権、育成者権等の取得戦略・権利活用など
品種登録・GI登録実績企業	GI登録の経緯、登録後の活用状況、知財ミックス、海外展開など
JAS認証機関	知財と標準化の観点でのJAS、JASの手續と知財、弁理士との協働など
農林水産省	品種登録、営業秘密、GI（知財ミックスの活用）など
経済産業省伝統的工芸品産業室	GIによる伝統的工芸品の保護など
特許庁商標課	知財ミックス、伝統的工芸品の保護など
消費者庁	機能性表示食品に関する特許との親和性、出願への影響など
東京税関	登録品種の持ち出し制限など

【他専門家との合同相談会の実施】

- 各地で専門家の連絡協議会等が存在し、共同して相談会を実施。また、アイチ土業ネットワークが主催するフレッシュマンフォーラムなど、様々な土業間交流が行われており、**各地域会が中心となり参画**。

＜合同相談会の一例＞

- ・ 東京10土業よろず相談会
- ・ 埼玉友好土業協議会主催 暮らしと事業のよろず相談会
- ・ 山梨の10土業による無料なんでも合同相談会
- ・ 11の専門家による無料相談会（新潟）
- ・ 専門家による暮らしの一日無料相談所（滋賀）
- ・ お悩みパーフェクト相談会（兵庫）
- ・ 土佐土業交流による合同無料相談会
- ・ 複数専門職による 暮らし・事業なんでも相談会（福岡）

【アグリビジネス創出フェア】

- 技術交流展示会である本フェアにおいて、農林水産関係者へのPR。関係構築を推進。
 - ✓ 展示ブースにおける弁理士の活動紹介（パネル展示、パンフレット配布）
 - ✓ 出展者プレゼンテーションにおける、研究成果発表
 - ✓ 個別相談対応

【農林水産知財に関する協議会への参加】

- ✓ 農林水産物等輸出促進全国協議会（会員）
- ✓ 農林水産知的財産保護コンソーシアム（幹事）
- ✓ 地理的表示協議会（協力会員 ※協議会設立時から参画）

【農林水産普及指導員を対象研修での講演】

- ✓ 「農産物輸出促進・知的財産研修」（実施機関：農林水産研修所つくば館）において、弁理士がAI・データに関する契約ガイドラインについて過去数年にわたり継続して講義。

Ⅱ. 信頼されるプロフェッショナルとしての弁理士の育成

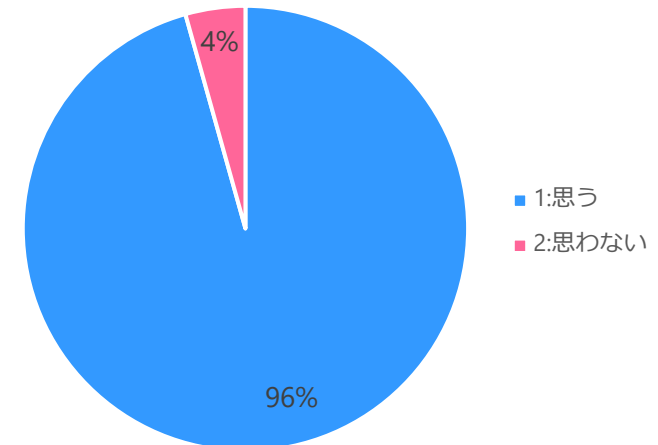
1. 弁理士の育成・強化

- 経済・産業の発展に寄与し弁理士の使命を全うするためには、**不断の弁理士の育成・強化は必要不可欠**。
- 信頼されるプロフェッショナルたる弁理士の育成・強化に向け、種々の業務に関する研修の提供はもとより、**ディスカッション型研修の拡充**するとともに**プレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力の向上に資する研修**を検討。

【ディスカッション型研修の拡充（一例）】

- **知財マネジメント 講師育成研修**
 - INPITが全国で実施するセミナーの講師を育成するための研修。講師役と生徒に分かれてのワークショップ形式で実施。
 - 受講者の反響は**非常に好評**であり、R6年度以降**同様の形式の研修をさらに拡充**予定
- **知財・標準化を活用したビジネス戦略 事例研究**
 - 知財と標準化をミックスした戦略立案に主眼を当てたワークショップ形式研修。
 - R5年度は東京で開催、R6年度は他地域での開催を予定。

【受講者アンケート】
扱う事例を変えて、再度同様の研修を受講したいと思うか？



【幅広いニーズに対応した研修の提供】

- 令和5年度は、12月末時点で181の研修（座学・ライブ配信・両者併用）を実施。
- E-ラーニングコンテンツは常時200以上を配信。

2. 生成AI時代に適応した弁理士業務の検討

- 生成AI時代において、新たな環境への弁理士業務の適応も急務。
- R5年度は、広く情報を収集するとともに、生成AIの諸問題に関するものや、AIツールの活用による業務効率化を紹介するものなど、AIに関する種々の研修を開催。
- 生成AIの利用にはリスクもあることに鑑み、今後当会として利用に係る指針を策定予定。

【情報収集】

- 複数機関で、生成AIを用いた検証を実施。
- 複数の諸外国との交流においても、AIをテーマとして意見交換を実施。

＜AIに関して意見交換を行った団体（R5年度）＞

- ✓ フランス弁理士会（CNCPI）
- ✓ ドイツ弁理士会（PAK）
- ✓ 米国知的財産権法協会（AIPLA）
- ✓ 韓国特許庁（KIPO）
- ✓ 韓国弁理士会（KPAA）



【研修の実施】

- AIに関し様々な観点から研修を実施。実施に際しては、オンライン形式を中心として広く受講機会を確保。

演題	講師
AIツールの知的財産（IP）への可能性について	ヨーロッパ弁理士・ドイツ弁理士
ChatGPT等の生成AIにまつわる法的問題と紛争解決	弁護士、弁理士
特許実務におけるAIツールの活用	AI開発企業役員
弁護士の視点から見た知財実務～生成AIに関する諸問題～	弁護士
生成AIと著作権—『機械学習パラダイス』としての日本	大学教授
ドイツ弁理士会（PAK）によるセミナー （AI関連発明の保護について）	ドイツ弁理士会代表団
欧州コンピューター関連発明特許性の最新動向：日米欧出願に強いクレーム・明細書作成	欧州特許弁理士、海外ロースクール教授
AI(人工知能)技術の急成長とCGC改訂によって大きく変わる企業の知財業務と特許事務所との関わり方	企業関係者、内閣府職員、弁理士
先端技術と知財トピックス～AI・ブロックチェーンについての基礎から最新トピックスまで～	弁理士
特許審査の現状と今後の展望	特許庁職員
AI時代の新たな明細書作成法『スマートドラフティング』～ChatGPTの活用事例紹介付き～	弁理士
AI関連技術に関する新規の特許審査事例（案）等について	特許庁職員

Ⅱ. 信頼されるプロフェッショナルとしての弁理士の育成

3. 標準化に関する取組強化

- 令和5年6月公表の日本産業標準調査会（JISC）基本政策部会取りまとめ（日本型標準加速化モデル）において、弁理士は「**標準化戦略人材**」および「**規格開発・交渉人材**」として位置づけられ、とりわけ**オープン・クローズ戦略の立案やそのサポートを担うことに期待**が示された。
- 期待に応えるべく、「知財・標準化一体的活用検討WG」を設置し、**標準化に関する取組を強化**。日本型標準加速化モデルの実現に向けて、**3つの課題への対応**を中心に、産業標準委員会と連携して**集中的に活動を実施**。

【特に集中的に取り組んでいる課題】

課題	主な活動
(1) 標準化人材登録Directory（STANDirectory）への弁理士の登録	「標準化戦略人材」を中心に、STANDirectoryにおける、弁理士の登録要件を検討中
(2) 弁理士に対する標準化に関する研修の拡充	- 今後の研修に反映すべく、標準化に関する検討会等の状況を注視 - 人権など新たな標準化の分野に関して、JSAなどの協力のもと研修を実施できるよう検討中
(3) 弁理士による知財・標準化を一体的に取り扱う活動の整理	- 種々の事例を抽出中 - 今後企業に対するヒアリングを実施予定

【JISC基本政策部会取りまとめ（日本型標準加速化モデル）抜粋】

類型	主な内部人材の例	外部人材の活用例
標準化戦略人材 ①企業の経営戦略として、標準化の活用方法を考える人材	経営層～事業部門（経営企画部、研究開発部、知的財産部、マーケティング部等）	ストラテジストとしての外部人材（学識経験者、<u>弁理士</u>、コンサル、社外役員…）
規格開発・交渉人材 ②規格の原案作成や国際会議での交渉を行う人材	TCなどの幹事や議長、原案作成可能なエキスパート（技術者、研究者や品質保証担当、国際交渉人材の組合せ）	- 産総研、NITE、JSA等 - 学識経験者、<u>弁理士</u>等 - 認証機関等
活用・普及人材 ③制定された規格の活用のための地合いづくりに取り組む人材	- 渉外部や海外事務所等、国内外のロビイングを担当する者 - マーケティング担当	（政府や経済団体との連携が考えられる。）
若年人材 （上記の人材を持続的に供給するためには、）④標準に関連の深い事業部門を中心に、若年のうちに、標準化の経験を積む、あるいは研修等を通じて知見を備えることが必要	2050年を見据えれば、特に20代～30代の者 - 研究開発、知的財産、経営企画、規制担当など、関連の深い事業部が存在（単一のセクションに閉じない）	（雇用流動化を見据えれば、自社他社問わず、必要な素養と考えられる。）

Ⅲ. 弁理士の魅力発信

1. 知的財産立国の将来を担う人材の育成

- 当会Webサイトで公開している知的学習動画につき、R5年度中に特許・商標・著作権に関するコンテンツを追加し充実化予定。
- 楽しみながら社会のしくみを学ぶことができるこどもが主役の街「キッサニア」に、弁理士事務所パビリオンを開設予定。
- 小・中・高・大学等における知的財産出張授業やパテントコンテスト・デザインパテントコンテストにおける弁理士による生徒・学生に対する出願書類作成等指導も継続して実施。

【知的学習動画】

- 5～10分程度で知的財産について学習可能な（若干コミカルな）動画。
- 児童・生徒が自主的に学習することも、教員が授業のちょっとした時間に活用することも可能。

知的学習動画 —

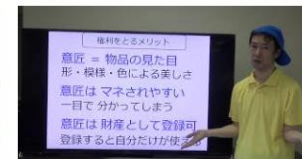
意匠編
意匠の保護対象1



意匠編
意匠の保護対象2



意匠編
権利をとるメリット



意匠編
新規性ってなんだろう？



意匠編
出願から登録まで

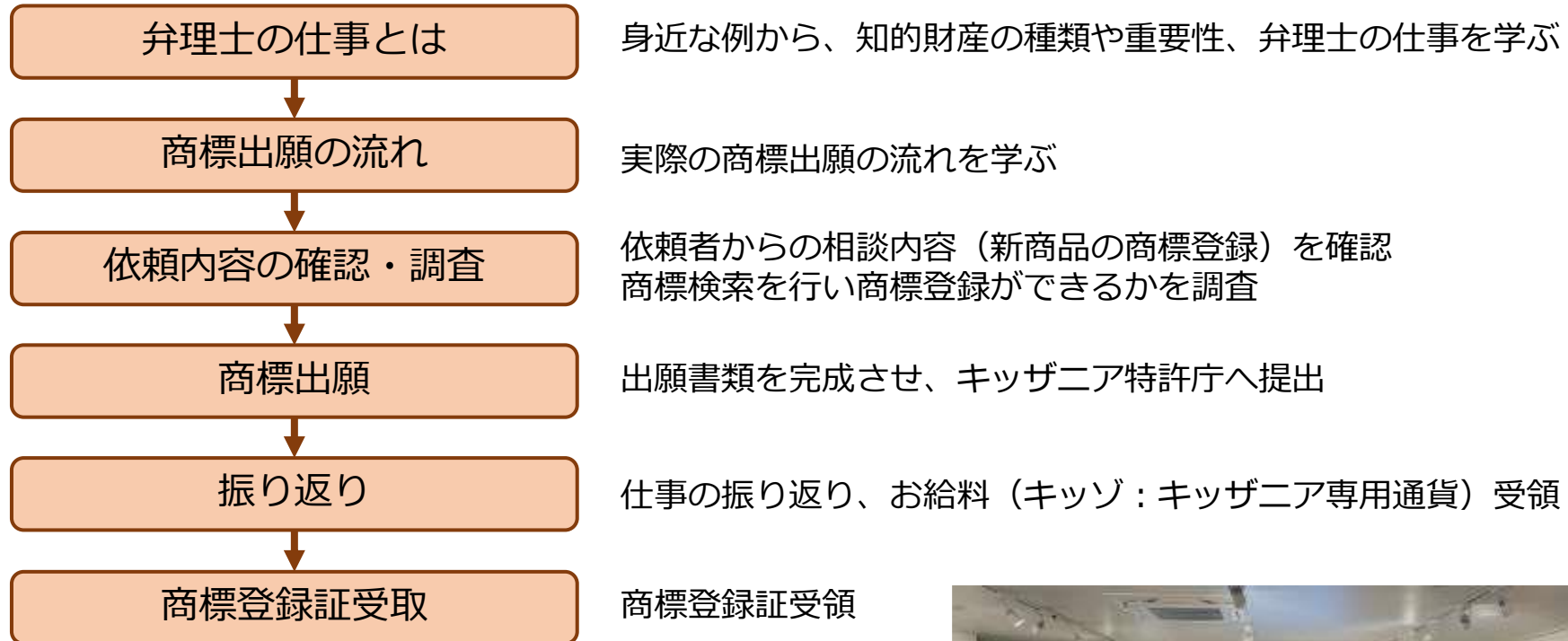


意匠編
意匠登録出願に必要な書類



【キッザニア「弁理士事務所」パビリオン】

- 知的財産に関する専門家の仕事として、商標出願を実体験



令和3年3月に、「弁理士ウィーク」としてキッザニア東京において、特許出願業務体験を実施した際には、1週間で678名が弁理士の職業を体験。同時に実施した弁理士に関するクイズラリーは入場者の約45%（3,361名）が参加。



2. 国際関係活動の拡充

- 弁理士は、スタートアップの海外進出支援等、グローバルなビジネスサポートができることも大きな魅力。
- 諸外国の関係団体と定期的・継続的に交流。会として常に情報を更新するとともに、セミナーやレポート等を通じて適切に各弁理士へ提供。
- 日本市場の活性化にも注力。令和5年度は日本の知財制度等を諸外国に紹介するインバウンド事業「Discover IP Japan」プロジェクトを拡充。また、成長著しいアジアにおいて、現地の知財実務者等を対象としたアジアセミナーも平成17年から継続して隔年開催し、アジア各地の知的財産関係者の育成を図るとともにネットワークを構築。

【Discover IP Japan (R5年度)】

- ✓ HIPLA (ヒューストン)
- ✓ SVIPLA (シリコンバレー)
- ✓ IPTA (メルボルン)
- ✓ LAIPLA (ロサンゼルス)

【アジアセミナー】

開催年	開催国	開催年	開催国
平成17	シンガポール	平成27	インドネシア
平成19	ベトナム	平成29	ベトナム
平成21	マレーシア	令和元	カンボジア
平成23	フィリピン	令和3	(中止)
平成25	タイ	令和5	タイ

【諸外国の訪問団によるセミナー】

- 交流に際してセミナーを開催。諸外国の専門家に登壇いただき、最新情報等を広く弁理士へ提供。



3. ダイバーシティ & インクルージョンの推進

- 令和5年1月に、当会としてダイバーシティ & インクルージョンの考え方に賛同し、ダイバーシティ & インクルージョンを推進することを宣言。
- ダイバーシティ & インクルージョンの視点から、生徒・学生に対し弁理士という職業の魅力を発信。また、他機関との合同セミナー等も実施。

【学生向け魅力発信（一例）】

- 東京都立大崎高校職業紹介セミナーにおいて「『進路選択と職業選択について』～多様な人材が弁理士となり担う今後の世界とは～」として講演。グループワークも実施し、生徒が柔軟で多様な考えに基づき発表。
- 東京海洋大学において「弁理士による職業紹介セミナー～『弁理士』という職業の魅力～」として講演。知的財産や弁理士の将来性などを概説するとともに、弁理士とダイバーシティとの関連について言及。

【合同セミナー（一例）】

- 他機関と共同してセミナーを開催
 - ✓ 「国際女性デー記念トークイベント『ダイバーシティ & インクルージョン×知財（イノベーション）』」（共催：WIPO日本事務所）
 - ✓ 「知財業界のダイバーシティ & インクルージョン～日本経済の持続的成長のために」（共催：JIPA、WIPO日本事務所）

